

平成 24 事業年度事業報告書（平成 24 年 7 月 7 日～12 月 31 日）

はじめに

平成 24 年 7 月 7 日に特定非営利活動法人ザンビアの辺地医療を支援する会が設立され、多くの方々の支援の下に活動を継続することができました。正会員・賛助会員総数も 135 名となり、心からお礼申し上げます。

巡回診療事業はチボンボ郡ルアノ地区で月 2 回、カナカンタパ地区で月 1 回継続実施しました。ルアノ地区で、保健衛生啓発事業として、コミュニティヘルスワーカー（CHW）やネイバーフッドヘルスコミッティ（NHC：地域の保健・衛生を担当する行政上の下部組織）のメンバーに対して、マラリア、下痢症、エイズに関する研修を実施し、地域住民に対しては、マラリア予防と下痢予防に関する啓発活動を実施しました。また、コミュニティヘルスワーカー（CHW）やネイバーフッドヘルスコミッティ（NHC）のメンバーの活動を資金面で支援するために、彼らの収入創出活動を開始しました。

広報活動としては、活動内容を伝えるニュースをメールで、計 7 回送信し、現在ホームページを作成中です。また、特定非営利活動法人ザンビアの辺地医療を支援する会を紹介するチラシを作成しました。

1. 巡回診療事業

1) ルアノ地区 表 1 参照

- 月 2 回、計 12 回実施し、1140 人の患者を診察・治療しました。内 433 人は 5 歳未満児です。参考までに提示しました 1～6 月までの患者と比べ、マラリア患者数が激減し、逆に乾季で水不足に起因すると考えられる下痢症、結膜炎、赤痢疑いが増加しています。
- 妊産婦健診受診者数は 1 回平均 12.8 人、家族計画受診者数は 1 回平均 9.8 人でした。HIV/AIDS 検査は、ヘルスセンターに検査キットがないことがあり、毎回の検査はできませんでしたが、陽性者は 52 人中 0 でした。巡回診療後のコミュニティヘルスワーカーによるマラリア検査の陽性率も今年前半の 80%から 59%と減少しています。
- 12 回の巡回診療に携わったのは、それぞれ合計、リタ郡病院から 10 人のクリニカルオフィサー、看護師、助産師、チペンビヘルスセンターから 20 人の看護師、助産師、HIV/AIDS カウンセラー、ルサカから 28 人の医師、クリニカルオフィサー、運転手、コミュニティから 28 人のコミュニティヘルスワーカーと毎回数名のネイバーフッドヘルスコミッティのメンバーでした。
- 重症肺炎などの重症患者は、抗生剤などの投与後、プロジェクトの車両でチペンビヘルスセンターまで搬送されました。
- 巡回診療後、マラリア検査キット、抗マラリア薬、パラセタモール（解熱鎮痛剤）、ORS（Oral Rehydration Salts:脱水症予防ために水に溶かして使用する粉末）、テトラサイクリン眼軟膏をコミュニティヘルスワーカーに渡して、患者のフォローをお願いし、次回の巡回診療時に、CHW の記録をチェックし、必要な助言・指導を行いました。
- 巡回診療に利用している コミュニティスクールのわら屋根がむきだしとなり、雨季はどうなるかと心配していたところ、住民が自らレンガを焼き、2 部屋の診察室として使える建物を建設し、11 月 14 日の診療から使用しました。

2) カナカクタパ地区 表2参照

- プランインターナショナルという国際NGOの支援で、とても立派なヘルスセンターと4戸のスタッフハウスが建築され、開院を待つばかりの状態にもかかわらず、いつ開かれるのか見通しがたっていません。マラリア患者の増加で、子供たちが亡くなっている状況があり、コミュニティからの強い要請で月1回の巡回診療を6月から開始しました。特定非営利活動法人ザンビアの辺地医療を支援する会設立後は、計5回実施し、855人の患者を診察・治療しました。内325人は5歳未満児です。同時期のマラリア患者数の割合が25%で、ルアノの16%と比べて多く、また、5歳未満児の占める割合が37%で、ルアノの46%と比べ少なく、実際診療していても大人のマラリア患者が多いと感じました。その理由は現在のところよくわかりません。下痢症や結膜炎も多く見られますが、赤痢疑いはルアノと比べ少ないです。
- 妊産婦健診受診者数は1回平均22人、家族計画受診者数は1回平均14人でした。HIV/AIDS検査は、ヘルスセンターに検査キットがないことがあり、毎回の検査はできませんでしたが、陽性者は35人中3人でした。陽性者はチペンビヘルスセンターで再確認の検査が実施されます。巡回診療後のコミュニティヘルスワーカーによるマラリア検査の陽性率の4カ月の平均は62%で、以前として高い状態が続いています。
- 5回の巡回診療に携わったのは、それぞれ合計、チペンビヘルスセンターから9人の看護師、助産師、HIV/AIDSカウンセラー、ルサカから18人の医師、クリニカルオフィサー、運転手、コミュニティから5人のコミュニティヘルスワーカーと毎回数名のネイバーフッドヘルスコミッティのメンバーでした。
- 巡回診療後、マラリア検査キット、抗マラリア薬、パラセタモール（解熱鎮痛剤）、ORS（Oral Rehydration Salts:脱水症予防の水に溶かして使用する粉末）テトラサイクリン眼軟膏をコミュニティヘルスワーカーに渡して、患者のフォローをお願いし、次回の巡回診療時に、CHWの記録をチェックし、必要な助言・指導を行いました。

2. 保健衛生啓発事業（ルアノ地区）

- 1) コミュニティヘルスワーカー（CHW）やネイバーフッドヘルスコミッティ（NHC）のメンバーの研修
 - 10月19日、11月21日の2日間、チペンビヘルスセンターから3人ずつ講師をお願いして、マラリア、下痢症、エイズに関する研修を実施しました。特にORSの作り方やクロリンの使い方を実践して指導しました。2日間で43名の参加者があり、研修の機会がこれまでほとんどなく、基本的な保健衛生知識が不足しているので、出席者はとても真剣に講義を聞き、質疑応答も活発でした。
 - 従来どの地域でも、出産を介助するいわゆるお産婆さん（Traditional Birth Attendant: TBA）が、研修を受けて、trained TBAとして働いています。保健省は現在施設分娩を促進し、自宅分娩を減らそうとしていて、TBAの新たな研修は認められていません。ルアノ地区では、正確な数値はわかりませんが、自宅分娩がほとんどです。しかし、その介助をするtrained TBAが、ひとりもいません。そのため、2人の女性を選んで、妊娠中の危険兆候などを学んでもらうために、2週間チペンビヘルスセンターで研修を受けてもらいました。今後は、巡回診療時の妊産婦健診や家族計画の助産師を介助して、更に勉強してもらおう予定です。

2) 地域住民に対しての啓発活動

- 下痢・赤痢疑いや結膜炎の患者数が増加し、人々は小川から汲んできた水をそのまま飲料や水浴に使っています。安全できれいな水を使うことの重要性和、いまだに蚊帳を使用せずマラリアに罹患する子どもたちがみられることから、マラリア予防のためにネットが必要なことを住民に伝えるため、11月2日に、ドラマグループによる下痢予防とマラリア予防に関する啓発活動を実施しました。前の晩に雨が降り、今にも降り出しそうな天気のために、人々の出足はいまひとつでしたが、150人近くの人々が集まりました。ドラマが終わると、ヘルスセンタースタッフが、その内容をまとめ、再度クロリンを使った安全な水の使用やネットが必要なことを人々に伝えました。次々と質問が出て、特にクロリンの使用に関しては再確認ができたようでした。

3) コミュニティヘルスワーカー (CHW) やネイバーフッドヘルスコミッティ (NHC) のメンバーの収入創出活動

巡回診療時、CHWには1人当たり450円ほどの日当を出します。しかし、他のNHCのメンバーは、巡回診療の準備・片付け、体重・体温・血圧測定などを手伝い、昼食を準備してくれますが、日当は渡していません。そのため、不公平だと不満の声がありましたので、彼らとの話し合いを通して、クロリンとブームという洗剤を売って、その収益を彼らの活動に充てることとなりました。ところが、これらの品物の売れ行きが悪く、現在は電池の販売を始めて、様子を見ています。

今後の課題

1. 人材不足

リテタ郡病院からのクリニカルオフィサー、看護師、助産師の協力の下に活動は開始されましたが、その後徐々に人手を確保できないことが続き、看護師、助産師はチペンビヘルスセンターから派遣してもらおうようお願いし、クリニカルオフィサーはルサカから依頼しています。山元不在時には、2人のクリニカルオフィサーができれば必要なので、今後ともいい人材を探していく予定です。チペンビヘルスセンターのHIV/AIDSカウンセラーが非常に優秀で責任感が強いので、彼を看護学校に送ることも検討しています。

2. チペンビヘルスセンターから、一部の家族計画のピルや注射薬、マラリア検査キット、抗マラリア薬は提供されますが、定期ではなく、もちろん十分量ではありません。7月からの半年で、30,273,700Kwacha 日本円で459,285円を薬剤購入に費やしました。今後ともチペンビヘルスセンターと相談して、できうる限る薬剤提供をお願いするつもりです。

3. ルアノへの道は特に悪路で車の消耗が激しく、7月からの半年で、17,932,780 Kwacha で272,060円を車両維持に費やしましたが、これから雨季に入るのも、より多くの車両維持費が必要となります。運転手がディーゼル車を扱える免許を持った整備士なので、早め早めに車の整備をして、できるだけ最小限度に抑える努力を今後も続ける予定です。

4. 地域の小児に対する予防接種はヘルスセンターの責任です。しかし、ルアノ、カナカントパ地区では年2回の国を挙げてのキャンペーン時以外は、ほとんど予防接種は行われていません。ヘルスセンターにワクチンがあれば、ルアノ、カナカントパでもできうる限り予防接種を実施しています。しかし、

定期ではなく、母親を落胆させることが多いので、もっと定期的に予防接種ができるように、ヘルスセンターと話し合っていく予定です。

注) 表の疾患別患者数は参考値として下さい。診察するヘルスワーカーによってその診断名は変わってきて、統一することはできない状況です。

表1. ルアノ2012年(1)

月日	1月10日	1月24日	2月7日	2月21日	3月6日	3月20日	4月18日	5月2日	5月16日	5月30日	6月13日	6月27日	計
新受付患者数	106	31	46	27	79	47	43	24	22	31	23	16	495
診療患者数	156	106	129	139	101	177	190	138	149	139	135	128	1687
5歳未満児数	81	41	58	56	34	67	73	51	59	60	52	55	687
疾患別患者数													
マラリア	44	21	43	42	47	55	66	75	79	25	52	28	577
マラリア検査陽性数/総数	44/67	21/31	43/66	42/64	43/58	55/79	66/96	74/118	79/123	24/33	50/73	24/33	565/841
5歳未満児マラリア検査陽性数	16/22	8/9	26/32	18/30	18/22	21/28	38/47	33/47	41/54	13/17	25/35	14/18	271/361
急性胃腸炎/下痢症	4	3	4	2	1	5	4	3	13	6	1	6	52
気道感染症	37	24	24	23	16	36	31	17	12	35	40	29	324
原因のはっきりしない発熱	9	4	2	2	5	3	21	1	14	13	5	3	82
胃炎	9	8	3	5	6	11	2	5	6	11	3	8	77
結膜炎	6	2	2	2	2	4	7	11	3	7	7	10	63
頭痛	10	6	4	9	6	14	21	4	5	20	12	17	128
腰痛などのからだの痛み	13	3	2	5	5	4	4	10	15	13	11	6	91
う歯	1	7	3	3	2	7	14	7	9	5	3	7	68
皮膚疾患	7	2	3	6	6	9	6	7	11	10	6	0	73
高血圧症	3	1		2	0	1	1	2	3	0	2	0	15
寄生虫疾患	3	2	5	1	0	2	1	3	4	6	3	1	31
ビルハジア			2		4	0	1		1	1	1	2	12
赤痢疑い	5	2	2		1	1	1	1	1	1	2	1	18
貧血						1	0	8	4	1	1	0	15
外傷						2	0	1	2	0	1	0	6
てんかん疑い								2	2	1	0	2	7
他	5	21	30	27	8	28	20	29	9	11	9	15	212
妊産婦健診受診者数	19	8	11	7	14	8	24	9	15	6	16	6	143
家族計画受診者数	11	6	8	14	10	13	16	17	13	15	10	11	144
HIV/AIDS 検査陽性数/総数	0/4	1/5	0/5	2/10	2/10	1/8	2/20	0/5	0/6	0/1	0/9	0/1	8/84
巡回診療後のCHWIによるマラリア検査陽性数/総数	20/30	60/83	93/108	107/127	86/103	148/189	64/73	39/53	42/53	37/47	40/53	33/38	769/957

表1. ルアノ2012年(2)

月日	7月11日	7月25日	8月8日	8月22日	9月19日	9月26日	10月10日	10月23日	11月14日	11月28日	12月12日	12月26日	計
新受付患者数	13	26	14	28	14	27	15	13	22	6	4	10	192
診療患者数	100	140	97	151	140	89	65	94	136	36	25	67	1140
5歳未満児数	39	46	37	67	55	36	29	37	50	13	3	21	433
疾患別患者数													
マラリア	17	36	16	40	27	14	8	8	7	4	1	5	183
マラリア検査陽性数/総数	17/31	36/59	16/39	38/68	27/39	14/28	7/25	8/47	7/60	4/22	1/11	5/39	180/468
5歳未満児マラリア検査陽性数	11/19	12/17	8/20	20/29	15/19	5/14	2/12	6/22	1/25	2/10	0/1	1/15	83/203
急性胃腸炎/下痢症	1	2	6	19	10	3	9	6	14	2	2	8	82
気道感染症	23	32	38	42	39	27	12	34	81	12	6	28	374
原因のはっきりしない発熱	4	17	8	0	0	1	1	1	3	4	0	5	44
胃炎	11	0	3	0	9	6	5	6	2	2	2	2	48
結膜炎	6	11	6	5	14	17	12	21	19	3	1	0	115
頭痛	1	2	0	4	2	4	4	4	9	3	2	0	35
腰痛などのからだの痛み	8	2	8	14	6	5	5	14	11	7	8	5	93
う歯	2	6	5	7	5	3	1	7	2	0	1	0	39
皮膚疾患	8	5	4	10	2	3	7	3	10	0	2	3	57
高血圧症	2	2	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	9
寄生虫疾患	0	0	1	0	0	4	2	1	4	0	2	0	14
ビルハジア	2	3	0	0	0	0	1	0	3	2	0	2	13
赤痢疑い	1	8	0	2	2	4	11	7	3	1	1	0	40
貧血	0	1	1	0	0	1	1	0	2	0	1	1	8
外傷	0	3	4	1	2	0	0	0	0	0	0	8	18
てんかん疑い	2	5	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	19
他	9	6	16	6	19	8	7	9	12	1	2	2	97
妊産婦健診受診者数	14	14	12	8	21	3	20	12	25	4	2	19	154
家族計画受診者数	5	5	11	15	27	5	5	10	10	6	4	15	118
HIV/AIDS 検査陽性数/総数			0/11	0/15			0/14	1/12					0/52
巡回診療後のCHWによるマラリア検査陽性数/総数	16/22	34/44	32/63	28/43	16/37	12/21	21/41	34/48	13/28	11/16	17/35		234/398

1年合計
687
2827
1120

760
745/1309
354/564

134
698
126
125
178
163
184
107
130
24
45
25
58
23
24
26
309

297
262

8/136

1003/1355